



# JR東労組仙台

East Japan Railway Workers' Union SENDAI  
東日本旅客鉄道労働組合 仙台地方本部

発行者:佐々木克之

編集:情宣部

2024年4月4日 No.72 東北三地本HP



## 地本OB会幹事会にて“**会員として認めない**”ことを確認！

# OB会にて「ひがし労」との内通者発覚！

### 2度の注意喚起を無視し、内部資料を「ひがし労」へ流出させる行為！ これまでの調査で「ひがし労」との二重加盟の証言も寄せられる！

JR東労組仙台地本は「ひがし労」が「東労組解体宣言」を行った事実を組合員のみならず、OB会員へ周知してきました。しかし、その際に作成した内部資料が、2度にわたる「内部資料であることから外に出さないこと」の注意喚起を無視して、新庄支部OB会員より「ひがし労」に流出されたことが、「ひがし労」からの申し出により明らかとなりました。

地本はそれ以降、OB会と連携して調査を行ってきましたが、その調査結果、資料の流出者は、元仙台地本書記長であり、元専従者であった者であることが明らかになりました。また、複数のOB会員の証言によると、当事者は自ら「ひがし労」に加入している事実を明らかにしていることもわかりました。

### 地本OB会は幹事会にて、会則に基づき「**会員として認めない**」ことを確認し、 当事者に対して“**東労組OB会からの退会**”を通告しました！



### OB会も会則に基づき、組織運営されています！

JR東労組OB会会則

第3条 目的

この会は、JR東労組方針に基づき、会員の社会的・経済的地位の向上と相互扶助及び連帯強化を図ることを目的とする。

## JR東労組の『二重加盟』に対するスタンス

2000年、JR東労組組合員が、JR東労組と他の連合傘下の組合と『二重加盟』をしていた事態が発覚し、「組織と機関役員に対する不信感を醸成するもの」という理由で制裁審査委員会で審議され「除名」されました。これまでJR東労組は『二重加盟』を認めていません。

さらに言えば、今回のOB会員の事象のように、JR東労組に対し解体を宣言していた労働組合との『二重加盟』があった場合、組織内部の情報が流出し、組織破壊に活用されるといった事態を引き起こします。

このように『二重加盟』は組織に混乱を持ち込むものであり、容認できないのは当然です。